

円居

まよひ

令和8年3月26日(木)
備前市立備前中学校
校長 藤森 卓麻
0869-64-3365

新年度へ 繋げ 輝け その2

次のような話を修了式でしました。

3年生が卒業して十日余り、1・2年生だけの備前中が動いていました。大掃除では、自分のできることに精一杯取り組む姿が見られ、慌ただしい中にも一年間を締めくくる充実感と、新しい一年間を迎えようとする、期待と不安が少し混ざったような、ざわざわする感じが漂っていました。誰と一緒にのクラスになるのかな、先生は誰かな、と自分以外のことにはざわざわすることが多いかもしれません。でも、先日生徒会長がみんなに投げかけた「自分はどうなんだ？」に心を向けてほしいと思います。

1月下旬の私立I期入試の前日、3年生に毎年話をしていきます。簡単に言えば、激励の言葉になるでしょうか。「今夜は自分の心配の及ばないところを心配してもしようがない。今夜できることに全力を尽くす。できていないことを心配するよりは、できたことを振り返る。自分以外の人のことを意識してもしようがない。自分を出し切る。」というようなことを話しました。では・・・「できたこと」がなくて振り返られない人はどうすればいいのか。それを解決する魔法の言葉みたいなもの・・・、ない気がします。何もしていないけど、大事な本番をなんとかうまく切り抜ける方法・・・、ないよなあ、とあらためて思います。もちろん入試前日

の3年生にそんなことは言っていないよ。ん。(が、そういった現実は無視できないし、子どもたちに対して、フタをしてはいけないと思います。)できないことばっかり・・・、という思いを持っている子もいるかもしれないけれど、果たしてそうかな。目の前のことができること、をやらなかつたことはなかつただろうか。テストで良い点を取ること、授業中にタブレットで遊ぶのはやめられる。試合に勝つかどうかはわからないけれど、全力で走ることができる。面接入試に受かるかど

枝折り(しおり)スピンオフ

うかわからないけれど、リボンをつけることはできる。結果は約束できないけれど、自分の行動は自分で選んで決められる。さあ、4月から新しい学年がスタートします。「自分は今、どうする？」自分で考えて、自分で決めたことには驚くほど力を発揮する中学生。そんな姿を、新入生にも見せてほしいと思います。安心して過ごせる備前中、間違ってもやり直せる、思い切った挑戦できる備前中、を目指して・・・。派手でなくてもそれを担える一人になれるように。4月からも大いに期待しています。

私事だが・・・。大学で野球を続けるつもりが、気がつくとも全然違うことをしていた。夏休みには南の島で仲間たちとテントを張って一週間ほど魚を捕って過ごした。自転車、北海道や九州を野宿しながら回ったこともある。3000級の日本アルプスを縦走し、重さ30kgの荷物を背負って雪山にも登った。険しい山を登るときには岩に書かれた赤ペンキの道標が助けになる。今は「枝折り」ではなく赤ペンキだ。雪山では地面が全て雪で覆われているので、木の枝に結ばれた「赤布」が唯一の手がかりだ。迷いかけた雪道で赤布を見つけたときのありがたさは言葉には表せないほどだ。ある冬「日本で一番寒い所に行こう」と誘われた。北海道雨電沼湿原。湿原と言っても冬は6畳の積雪。二日かけて谷を登った。登った先には地平線が270度広がる雪原があった。翌朝、気温はマイナス30℃。テントから外に出ると、ビニル袋が粉々に砕けた。鼻毛が凍って内側から刺さった。3日後の帰り道、真っ白な地平線と真っ白な空の中、どこをどう通ってきたのかわからない。自分たちが来るときに立てた、赤布を先に結びつけた竹竿を探しながら進む。自分たちが残した「枝折り」代わりの道標だった。翌冬、道標のないところに行きたくなった。植村直己(登山家・冒険家 1941-1984)に憧れて、冬の雪原を犬ぞりて挑戦することにした。同級生、先輩と3日間徹夜で長さ3畳のソリを作り、雪の林道で走行実験もした。分解して北海道に送り、雪に覆われた雪原(夏は牧場*許可を事前にとった)の上を、オホーツク海に向かつてまっすぐ進んだ。何日目だったか・・・。ゴール地点で眺めたオホーツクに沈む夕日には感動した。あ、ちなみに犬は調達できなかったのソリを引いたり押ししたりしたのはヒトである。自分たちでイチから考えて道標のないところを進んだ経験は、今後の人生に大いに役に立った。かどうかはわからない。が、やりたいことに一心不乱に打ち込んでいたのは気持ちよかった。

ありがとうございました

今年度末をもって転退任する教職員です。

- 藤森 卓麻 (校長)
- 和気町立和気中学校ほか
- 池田 健至 (理科)
- 総社市立総社東中学校へ
- 佐藤 宏樹 (数学)
- 岡山県教育委員会岡山教育事務所へ
- 大饗 奈美 (事務)
- 備前市立伊里小学校へ
- 針原 翔 (保体)
- 岡山県立岡山東支援学校へ
- 日笠 沙耶 (英語)
- 備前市立三石中学校へ
- 橋本 知宙 (社会)
- 備前市立伊里中学校へ
- 的場 清美 (音楽)
- 備前市立吉永小学校へ
- 佐藤 優 (音楽)
- 勝央町立勝央中学校へ
- 京江 喜代美 (支援員)
- 備前市立吉永中学校へ
- 原田 由起子 (支援員) 退職
- 寺尾 志保 (事務) 退職
- 【A-L-T】他県へ
- PELAYO MARY JANE MORENO(スペイン)
- SUMALING JANE BARNAS(ジャバ)
- ACOPE ABEGAIL NAPONE(フィリピン)
- ARO GRACIELLE JAYNE GARCIA(グレイシエル)

4月からは、今までと違った立場で、いくつかの中学校で勤務することになりました。また新しく出会う子どもたちのために頑張ります。保護者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

